

ギアチェンジ

長光寺住職 福島伸悦

今の車は、大体オートマチックで運転操作が大変簡単になっています。今、マニュアルの車に乗る人は、本当に車が好きで、手動でギアチェンジをし、ドライブするのが楽しいのだと思います。

昔は、オートマチックの車なんてない時代でしたから、マニュアルの車を運転するのは当然でした。私も経験があるのですが、坂での発進は、クラッチとブレーキを使い、後ろに下がらないように緊張したものです。

人生もギアチェンジをせずに、オートマチックの車のように、ドライブにセットすれば目的地につけるようだったらどんなにいいかわかりません。しかし、人生山あり、谷あり、まさかがあり、その都度ギアチェンジをしなければならないことに遭遇します。

順風満帆の人生を送っていたとしても、自分が病気を患ってしまったとき、或いは会社を退職した時、伴侶をなくした時、色々なケースが考えられますが、それまでと同じような生き方では、立ち行かなくなります。そんな時、どうしたらいいかというところ、ギアを一段、或いは二段下げるとか、時には一段ギアを上げなければならないことがあるかもしれません。人生にとってのギアチェンジとは、発想の転換、つまり見方を変えることなのです。

何か苦難にぶち当たり、落ち込んだりした時、「人生は苦である」つまり「人生は思い通りにならないだよ」という言葉を思い出します。思い通りにならないのは当たり前なんだと納得すると、苦難は私に与えられた試練だと思う事ができます。そして、耐え忍んで努力すれば絶対良い結果がやってくると信じる事が出来れば、「苦難は幸福の門」だと考えられます。

マニュアルの車に乗る人のように、ギアチェンジを楽しめるように人生を楽しめたらいいなと思います。